

# 平成26年度 第3回宮城県産業教育審議会

宮城県教育委員会

1 日 時 平成26年11月7日(土)  
午前11時10分から正午まで

2 会 場 名取市民体育館  
名取市増田字柳田250番地  
電話 022-384-3161

## 3 次 第

1 開 会

2 開会あいさつ 宮城県教育庁高校教育課長

3 議 事

(1) 平成26年度宮城県産業教育審議会新役員について

(2) 平成26年度宮城県産業教育審議会新規委員任期中のスケジュールについて

4 その他

進行

委員の皆様，本日は御多用のところ御出席をいただきまして，大変ありがとうございます。開会に先立ちまして，本日の資料並びに日程の説明をさせていただきます。まずお手元の資料の確認をお願いいたします。はじめに開催要項一枚もの，次第と裏面には資料の一覧が記載されております。続いて宮城県産業教育審議会委員名簿，裏面は座席を示しました会場図が記載されております。次に資料1-1から4-3として，最初のページに宮城県産業教育審議会近年の審議内容と記載しております12ページの綴じ込み資料，資料5として平成24年3月にいただきました震災からの復興に向けた今後の専門学科・専門高校の在り方についての答申文，最後に右上に産業教育審議会意見用紙と記載してありますFAX用紙となります。

なお，綴じ込み資料のうち資料1-1から3-3までにつきましては，産業教育審議会のこれまでの流れや，専門学科・専門高校の状況についてまとめたものとなっております。本日の審議会ではこの内容について審議はいたしません，参考資料として配布させていただきました。

次に，本日の日程についてご説明いたします。配付要項の次第をご覧ください。このとおりに進めて参りたいと思いますが，終了時刻は正午を予定しておりますのでよろしくをお願いいたします。

なお，本審議会は，配布資料の9ページ資料3-3のとおり情報公開条例19条に基づき，公開となりますので，よろしくをお願いいたします。

それでは，ただいまから，平成26年度 第3回宮城県産業教育審議会を開会いたします。

開会にあたり高校教育課長 山内明樹が挨拶を申し上げます。

山内高校教育課長 改めまして高校教育課の山内でございます。よろしくお願いいたします。委員の皆様には全国産業教育フェアの総合開会式にご出席いただきましてありがとうございました。「さんフェア」というのはおそらく今まで知らなかったという方が多いのかもしれませんが，説明にもありまし

たように、農業、工業、商業、水産、家庭、看護などいわゆる専門高校、専門学科に学ぶ生徒が学習の成果を発表するという全国規模の大会になります。専門学科の甲子園とも言われる大会でございます。実はこの開催が内定したのは5年前でした。5年前に宮城で開催しますということになり、47都道府県持ち回りでの開催ですが、その後2年ほどして震災がありまして、その時には事務局として、宮城県での開催はできないではないかと開催を危ぶむ話も出ていたところでした。ところが学校関係のほうに相談しましたら、そうではなくて、むしろこういう時だからこそ、3年後にやるんだという目標を定めて、それに向けて、あるいはそれを励みとして職員や政府や関係者が心を一つにして準備をしていくことが専門学科の復興にもつながるんじゃないですかと、そのような話を頂きまして、じゃこれはやりましょう。歯を食いしばって一步を踏み出していただいたということでございました。おかげさまで生徒実行委員会が組織され、生徒が全部手作りで作ってくれたんですけども、まだまだ仮設の校舎や仮設の実習棟などがありまして、十分な教育環境が整っているとは言えない中でのスタートではあったのですが、生徒はよく耐えよく励み、今日の日を迎えてくれたと思っております。本日は第3回の産業教育審議会ということでございますが、7月に委員の改正がございましたので、この顔合わせによるものは今年度第1回目ということになります。本日はそういったことで新役員を決めていただくこと、さらには今後2年間のですね、委員の任期期間中の活動についてご審議いただきますのでよろしくお願いいたします。なお12時終了ということでだいたい時間を守って今日は終わりたいと思っております。それはですね、せっかくの機会ですので、この後、午後もお時間の許す限り会場の方を回って頂きまして、生徒の活躍の様子をご覧いただければと思いますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

進行 次に本日ご出席の皆様をお手元の名簿順にご紹介させていただきます。宮城県商工会議所連合会常任幹事 間庭洋様でございます。

間庭洋委員 間庭でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

進行 宮城県中小企業団体中央会専務理事 及川公一様でございます。

及川公一委員 及川でございます。よろしくお願いいたします。

進行 工藤電機株式会社代表取締役社長 引地智恵様でございます。

引地智恵委員 引地です。どうぞよろしくお願いいたします。

進行 宮城県農業協同組合中央会常務理事 竹中智夫様でございます。

竹中智夫委員 竹中です。よろしくお願いいたします。

進行 宮城県専修学校各種学校連合会会長 菅原一博様でございます。

菅原一博委員 菅原でございます。よろしくお願いいたします。

進行 東北大学大学院教授 伊藤房雄様でございます。

伊藤房雄委員 伊藤です。どうぞよろしくお願いいたします。

進行 宮城県経済商工観光部次長 西村晃一様でございます。

西村晃一委員 西村です。よろしくお願いいたします。

進行 宮城県宮城広瀬高等学校校長 浅野雅子様でございます。

浅野雅子委員 浅野でございます。よろしくお願いいたします。

進行 なお、宮城県漁業協同組合専務理事 小野秀悦様、宮城教育大学教授 本  
図愛実様、宮城学院女子大学教授 平本福子様、東北福祉大学教授 塩  
村公子様は所要のためご欠席となっております。続いて宮城県教育委員  
会の主な職員をご紹介します。高校教育課長 山内明樹でございます。

山内高校教育 よろしくお願いいたします。

課長

進行 以上でございます。これより審議に入りますが配付資料の 8 ページ資料

3-2の産業教育審議会規則第5条により会長が議長を務めることになっておりますが、8月、新たに委嘱され最初の会合となりますので暫時の間高校教育課長を議長として進行させていただきます。それでは課長お願いいたします。

山内高校教育 課長 はい、それではご協力よろしくお願いたします。それでは議事の1番について説明お願いたします。

事務局 はい。議事の1番目次第をご覧頂きたいと思ひます。この8月に平成26年度新たに産業教育審議会委員として委嘱させて頂きましたが、委員の中から会長、並びに副会長を決定することになります。なお、会員の互選によって決定するという事になってござひます。この件についていかがいたしましうか。

山内高校教育 課長 いかがいたしましうかということござひますが。

間庭洋委員 一任ということござひます。

山内高校教育 課長 一任という声ござひました。

事務局 はい。それでは事務局の原案を申し上げます。会長に東北大学の伊藤房雄委員、副会長に宮城県商工会議所連合会常任幹事間庭洋委員にお願いしてはいかがでしうか。

委員 異議なし

山内高校教育 課長 はい、異議なしの声ござひました。異議なしの声ありましたので、会長を伊藤委員、副会長を間庭委員にお願いしたいと思ひます。よろしくお願いたします。

事務局 ありがとうございます。それでは、伊藤委員に会長をお願いするということで、改めて産業教育審議会会長として、伊藤会長様からご挨拶を頂きたいと思ひます。

伊藤房雄会長 皆様こんにちは。ただいま本審議会の会長を仰せつかりました東北大学の伊藤と申します。会長就任にあたりまして一言ご挨拶を申し上げたいと思います。ご存知の方も多いと思いますが、本審議会は、県の教育委員会からの要請に応じて、宮城県の産業教育の状況等を踏まえて、産業教育の在り方について皆さんにご検討頂いて、答申、または提言という形でお答えしていく会と考えております。先ほど事務局からも説明ありました資料の中に、平成24年、資料5です。震災からの復興に向けた今後の専門学科、専門高校の在り方という最終答申があつて、これによって農業高校、水産系の高校の再建について取りまとめを行うなど、今後の産業教育の方向についてまとめているわけです。こういった答申に見られるように、本審議会の果たす役割は本当に大きいものと考えております。また、本日開催されている全国産業教育フェア宮城大会の開会式、それから展示ブースを拝見させて頂きました。宮城県以外の地域のいろんな専門高校の取組が見られる非常に良い機会と受け止めました。これから開催する本審議会では、皆さんの様々なお立場から、ご意見頂き、宮城県の産業教育がより良いものになるよう、精一杯取りまとめに努力したいと思っておりますのでご協力の程よろしく願いいたします。

事務局 では、ここからの進行を会長にお願いしたいと思っております。よろしく願いいたします。

伊藤房雄会長 はい、それでは早速ですが、本日の1番目の議事が終わりましたので、2番目の平成26年度宮城県産業教育審議会新規委員任期中のスケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。

事務局 はい、事務局を担当しております、佐々木と申します。よろしく願いいたします。それでは審議の2についてご説明をいたします。資料1-1と書いた冊子の10ページをご覧下さい。資料4-1となります。はじめに産業教育審議会について若干触れさせていただきます。産業教育審議会は産業教育を通じて勤労に対する望ましい考え方を確立し、産業技術を習得させるとともに工夫創造の能力を養うことで経済自立に貢献する優位な人間を育成するため、産業教育の振興を図ることを目的としております。産業教育に関する教育の内容や方法、産業界との協力を促進するための事項等についてご審議を頂いております。本日は本年度第3回目と

ということになりますが、これまで5月と6月にそれぞれ1回、宮城県農業高校、宮城県水産高校を会場として前任の委員の皆様によります審議会を開催して参りました。学校の取組などを実際にご覧頂くとともに、震災からの復旧状況をご確認頂いたところです。平成26年度新たに委員となられた皆様には今年8月から委員をお引き受け頂き、平成28年7月までの2年間で、先ほど会長からもありました別冊資料5、震災からの復興に向けた今後の専門学科、専門高校の在り方についての最終答申がございます。これにつきまして検証作業を進めまして、その結果を取りまとめ今後の産業教育の在り方についてご提言を頂きたいと考えております。同じ綴じ込み資料に戻りますが11ページ4-2をご覧ください。具体的なスケジュール案についてご説明いたします。平成26年度から28年度までの審議の内容等を時系列で示した表でございます。今年度はこの後第4回の審議会といたしまして2月開催を予定しております。その内容につきましては検証の1として震災被害の大きかった農業高校、水産系高校の再建について検証を進めたいと考えております。別紙の資料5の8ページをご覧ください。本答申では東日本大震災を受け、緊急かつ最優先課題という判断から震災被害の大きかった農業高校、水産系高校の再建について、農業教育と水産教育の今後の目指すべき方向性について、さらに学校再建に向けての提言ということも併せて頂いております。この内容につきましては現状を踏まえて農業教育の目指すべき方向性や同じく水産教育の目指すべき方向性として、6次産業化への取組、ITを活用した人材育成等が具体的に示されております。この答申で示されました方向性について、現在学校がどのような取組みをしてきたのかを確認していきながら、今後目指すべき方向性などについて委員の皆様からご意見を頂ければと考えております。続いて、綴じ込み資料に戻りますが、資料4-2平成27年度、次年度のお話になります。27年度の審議会につきましては、検証2といたしまして宮城県の専門学科、専門高校を取り巻く現状と課題、被災地の地域復興を視野に入れた専門教育の在り方について学校の取組や状況を確認しながら検証を進めて参りたいと考えております。続けて、任期が終了となる、平成28年度には26年度の検証1並びに27年度の検証2を取りまとめて今後の産業教育の在り方についてご提言という形で教育委員会へご提出頂くというスケジュール案を作成いたしました。なお平成27年度から綴じ込み資料8ページ、資料3-2にあります産業教育審議会規則第3条のとおり、各専門委員会を組織することが出来るとなっております。この専門委員につきましては

各専門学科の教員を構成員として各学科ごとに意見集約にあたるほか、提言案の素案作りにもご協力頂くことを考えております。続いて、綴じ込み資料最終ページ、12 ページの資料 4-3 をご覧ください。ただいま説明をいたしました内容をスケジュール表としてまとめております。一番上の段が審議会の開催予定など、中段が審議の方向性、下段が専門委員会の開催予定をまとめたものになります。委員の皆様が一番上の審議会の予定と中段の審議の方向性という部分をご確認頂ければと思います。以上の通り、平成 26 年度宮城県産業教育審議会新委員の任期中のスケジュール案についてご提案申し上げます。ご審議よろしく願いいたします。

伊藤房雄会長 はい、どうもありがとうございました。ただいまの事務局からの説明について、皆さんの方からご意見ご質問頂きたいと思います。いかがでしょうか。

委員 12 名で構成される本審議会ですが、私を含めて 5 名が新たに指名されました。これまでの討議をよく分かってらっしゃる間庭副会長、菅原委員、それから西村委員の 3 名はいらっしゃいますが、運営面では審議委員全体の約半分が入れ替わったことになるわけです。

山内高校教育 今回ちょっと大きな入れ替えになってしまいました。  
課長

伊藤房雄会長 事務局からの説明ですと、当面この審議会でやることは、24 年 3 月に出された答申の検証かと思いましたが、今、読む時間は無いかと思しますので、あとで読んで頂いて、そこには盛り込まれていないが今後の社会や経済の流れの中でこういった視点も必要なのではないかということがありましたら、ぜひそれを事務局に申し出てください。この審議会の中でそういった視点も含めた検証をしていきたいと思っております。いかがでしょうか。どなたか確認でもかまいませんが。

竹中智夫委員 もし 2 月の予定がいつなのか決まっていればお願いします。

事務局 現段階で確定した日付は持っておりません。この後、各委員の皆様にご都合をお伺いする F A X、あるいはメール等を差し上げて、一番参加出来るところを模索したいと考えております。どうぞよろしくお願いいた

します。

竹中智夫委員 上旬・中旬・下旬の時期は、こだわらずにということですか。

事務局 県議会が絡まない時期ということで、できれば上旬ぐらい、遅くても中旬ということで考えていきたいと思います。

竹中智夫委員 議会が開催される前にはということですね。

事務局 はい、そのように考えております。よろしくお願いいたします。

竹中智夫委員 また、月曜から金曜が基本ですか。本日のような土日の開催もあるのですか。

事務局 はい、本日はイレギュラーな対応でございます。今回はイベントに合わせて土曜日を開催日といたしましたが、基本的には平日と考えております。よろしくお願いいたします。

山内高校教育 課長 このような会議室を使っての会議の開催がこれまで多かったのですが、今回は検証ということもありますので、できるだけ現地調査も兼ねるような格好で、各学校を会場にして実際学校の様子なども見て頂きながら、話し合いを行うことも考えております。それは、生徒の活動の様子を見て欲しいという気持ちがあるためです。そのようなことから月曜から金曜の授業を行っている平日の開催を考えている所でございます。

伊藤房雄会長 ありがとうございます。竹中委員よろしいですか。

竹中智夫委員 はい。

伊藤房雄会長 他いかがでしょうか。

山内高校教育 課長 24年3月の答申ですが、震災の直後にすぐ組織されまして、実に短期間でよくまとめて頂いたと思っております。ただ、それから3年経過する中で、環境状況や復興の度合いがずいぶん変わって来ておりますので、そういった意味では検証を行った上で新たに付け加えるものがあれば多

少修正を加えなければいけないものが出て来ると思います。そのあたりを委員の方々に直に確かめて頂きながら提言として最後におまとめ頂きたいという気持ちでございます。よろしくお願いたします。

間庭洋委員 その中身についてですが、このレポートに十分記載されていますが、さらに少し加えてその内容的な変化についてです。さっきおっしゃった復旧という非常に大きな使命が強い時期にこれをまとめまして、復興を目指してという部分では、現在復興に向かっている中で農業と水産のところは特になんですが、マーケティングの領域、つまり販路、どうやって開発するのか。その他が復旧して、水産加工も復旧していますが、この地域で長年取引のあった企業も疲弊していて販路が失われているという状況があります。西村さんもおられますが宮城県、岩手県、福島県も大変ご苦労されているわけです。その時に新しい取引先を開拓しなければいけないという状況に今さしかかっているのは、これをまとめた後の大きな課題となっています。どのような商品をどのような相手と取引することで、復興や農業・水産業の振興につなげるかというところが大きなテーマになっているのは、この時点で既に含まれて表現されておりますが、内容的にはウエイトが非常に大きくなっているということだけ申し上げたいと思います。このレポートそのものではありませんが、そのような状況の変化を申し上げさせて頂きました。

伊藤房雄会長 はい、ありがとうございます。これに関連してでも結構です。それ以外でもいいですが、他にご意見はございませんでしょうか。今、間庭副会長がおっしゃっていたことは私も全く同感です。実は私自身が農学系です。農学系で農業高校のいろんな取組みに関わらせて頂くことがあります。その中で竹中委員がいらっしゃる農協グループの全中とNHKが共催している「みんなで笑顔プロジェクト」というものがあります。6次産業化や地域興しに取り組む農業高校のクラブ活動の中で、ユニークで面白い取組を表彰しましょうという事業です。これまでは農業高校が多く参加しておりましたが、最近は商業高校・工業高校、水産高校も参加し始めております。全国のいろんな取組をみると、本当に面白いアイデアがたくさんあります。例えば、水産高校のヒトデとか使えないウニを堆肥にして、それで作ったネギがすごくおいしいとか。工業高校ですと、農村での小水力発電。しかも、地元のおじいちゃんたちでも修理できるように、ちょっとがさつなんです。間伐材を使った実用性の高い小水力

伊藤房雄会長 発電です。先ほど出口の話がありましたけど、やはりそういうことを考えていくと、農業や水産業の専門教育だけでなく、工業でも商業でもトータルの中での産業教育が今問われていると認識しております。そういう意味では、この最終答申は農業系と水産系となっておりますが、追加の検証もあろうかと思imasので、そんな視点を皆さんから随時事務局に出して頂ければと思います。他にいかがでしょうか。よろしいですか。それでは、今日は新しい委員への交代後最初の審議会ということで、新たなメンバーでの委員体制と、今後の任期中のスケジュールという議事でした。以上で審議を終わらせて頂きます。ご協力ありがとうございました。では、議事進行を事務局にお返しします。

進行 はい。議長の伊藤会長ありがとうございました。それでは事務局からご連絡を申し上げます。

事務局 はい。それではご連絡を3点させていただきます。まず1点目ですけれども、本日の審議会について何かお気づきの点がございましたら、資料の中にございますFAX用紙にご記入頂き11月28日金曜日までにご送付頂ければと思います。

山内高校教育課長 今日の内容というよりは先ほど委員長さんからお話があった通り、今後の審議の観点だとかそのようなところでご意見頂戴できればと思っておりますので、よろしく願いいたします。

事務局 続けて2点目ですが、次回開催は2月というお話をいたしました。開催日につきましては、後ほど調整させていただきますのでよろしくお願いいたします。最後に本日のご案内の時に口座振替依頼書の提出についてご連絡を差し上げました。持参された方がいらっしゃいましたら、この後私に出して頂ければと思います。以上でございます。

進行 それでは以上を持ちまして平成26年度第3回宮城県産業教育審議会を閉じさせていただきます。ご協力ありがとうございました。